

聴覚障害とは

聴覚障害は、まったく聞こえない、補聴器をつけていれば多少は聞こえる、片側の耳のみ聞こえない、聞こえにくいなど、それぞれ聞こえ方が違います。



【耳マーク】

聴覚に障害があることを示し、コミュニケーション方法に配慮を求める場合などに使用されているマークです。

☆コミュニケーションの配慮とポイント

外見から障害のあることがわかりにくいいため、「無視している」「話をちゃんと聞いていない」など誤解を受けていることがあります。その場に応じたコミュニケーションをお願いします。

聞こえ方によって、コミュニケーション方法は様々です。手話・筆談・口話等どのような方法が良いかを相手に確認することが重要です。



クラクションが聞こえない等、周囲の状況を把握できない場合があります。

危険な状況や困っている様子を見かけたら、進んで声をかけ、必要な支援を行いましょう。

障害の程度により、人工内耳や補聴器をつけている場合があります。

まわりからイヤフォンをつけていると誤解されることがあります。

また騒がしい場所では、うまく聞き取れないことがあります。相手の表情や態度をみて、伝わっているかどうか確認しながら会話しましょう。



コミュニケーションの一例を紹介します

手話

「こんにちは」「ありがとう」などの簡単な手話を覚えておく
とコミュニケーションのきっかけになります！
ただし、すべての人が手話ができるとは限りません

こんにちは



①片手の人差し指と中指を立て、人差し指のつけ根をおでこの中央に当てます。顔を時計に見立てたときの「昼(12時)」です。

②両手の人差し指の腹を向かい合うように立て、おたがいがおじぎをするように曲げます。あいさつを表します。

ありがとう



①片手の甲の上にもう一方の手を垂直にのせ、その手だけを上げます。②頭はおじぎするように軽く下げます。

参考:東京都福祉保健局 話そう!手のことば~はじめての手話~

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shougai/koho/hajimetenosyuwa.files/2023syuwa_leaflet.pdf

筆談

筆談を行う際は、日常的に使う漢字を使用して、文章は短く簡潔な表現にしましょう。
記号などを用いたり、パソコンやスマートフォンの画面を使って、視覚的に理解しやすいように表現しましょう！



窓口は17時までです
トイレは2階右手です



窓口→17時まで
トイレ→2階右手



口話

口元の動きや形を読み取って話の内容を理解する口話の際は口元の形や話をしている時の表情がよく見えるようにしましょう！

はっきり・ゆっくり



こんにちは / 本日は /
どんなご用ですか？

※内容は短く端的に言葉の
まとまりで区切ると伝わり
やすくなります。

このマーク
知ってる!?



【聴覚障害者標識】

この標識を付けた自動車は、聴覚障害のある方が運転しています。

【筆談マーク】

筆談でのコミュニケーションを求める場合に提示されるマークです。

